



笠山頂

笠山頂から笠山

— Eのあなたを待てく... —

「山のあなたの空遠く

幸い住むと人の言う

・・・

」

どこで最初この詩に触れたのかは覚えていない。

小学校へは、田んぼの中の単調な一本道（今でも学校道と呼んでいる）を1km以上歩いて通った。遠く西を見ると、関東平野が尽きて奥武蔵の山並みが隆起し、その上には広い空が広がる。

堂平山 876m
笠山 837m

山行実施日
2016年4月2日
メンバー
0野(L)、S々木ま、福Dよ、渡B、0知

「あの山の向こうにはどんな世界があるのだろうか」。冒頭が挙げた詩によって、この思いが持続し、「知らない所へ行ってみてみたい、見たことのない物を見てみたい」という思いにつながった気がする。だから、奥武蔵の山並みとこの詩とは、ほとんど一体となつて、私の好奇心の通奏低音みたいなものになった。時には表に出、時には裏に引込み、しかし、常に好奇心の土台になっている。

その山並みの一番北にあつて、綺麗な笠の形の山が笠山、南へ一度高度を下げて、また上げると天文台がある堂平山の50周年で埼玉県の山50を選ぶとき、真っ先に浮かんだのがこの2つの山だった。4月2日、5人の仲間と登った。車1台を下山口の萩平

放射線量
測定地点○白石峠
値 0.05μS
○笠山頂上
値 0.05μS
計器 RADEYE
PRD-ER

に回しておくのに、道がわからず、時間をロスした。民家に入ってしまった、出てきた主が親切に違う登山路を丁寧に教えてくれた。途中で遮るわけにもいかず、時間を気にしながら最後まで聞いて、お礼を言つて戻った。○知さんが呆れていた。下山口を何とか見つけて、白石車庫に戻り、ニッパ出発。白石峠を目指す。麓は花桃が満開。車道が終わり、山道になって、今度はカタクリの花の妖精が群落になって目を楽しませてくれる。白石峠で一休み、天気は曇り時々小雨。自転車で来た人も休んでいる。

剣ヶ峰、使用しているのか怪しい東大地震観測所を過ぎて、堂平山。天文台は役割を終えたみたいで、1階はラーメン屋さんになっている。雨

になり、近くのキャンプ場で雨宿りをしながら昼食。10日のお花見ハイクの予行で芋子汁を作った。S々木、福D、渡Bの3名は山菜を調理している他の団体の人と交流。

笠山を目指して出発。パラグライダーの基地を過ぎて、急な下り、幸運にも雨は止んだ。笠山峠からまた登り、東西2峰ある頂上に着いた。神社がある。展望はない。記念写真を撮った。

下山口、萩平までは、単調な山道だった。

近くだけど、そしていつも見ているけど、登ったのは久しぶり？ 今度は天気の良い日に、少しお酒を持って登りたい。○知さん、福Dさん、S々木さん、渡Bさん、付き合ってくれてありがとう。

○野記

コースタイム

白石バス停 11:00
～白石峠(着12:03) 12:15～
堂平山(着13:00) 14:15～笠山(着15:15)
14:45～萩平(着16:35)